

生活困窮・孤独孤立支援 プラットフォーム 成果報告会

日時：令和7年3月11日（火）

13時00分から14時00分まで

場所：アスティとくしま 2階・第5会議室

NPO法人ALIVE LAB

報告書

スナック雑談のれん分け事業
ママ・マスター養成講座



目次

01 団体紹介

02 取組内容

03 成果・感想



団体紹介



屋号 特定非営利活動法人ALIVE LAB（アライブ ラボ）

代表者 岡 昌伸

実績 国土交通省

設立 2008年03月28日

所在地 〒770-0872
徳島市北沖洲二丁目9番39号

【令和4年度住宅市場を活用した空き家対策モデル事業】
（阿波市と連携）
【令和5年度空き家対策モデル事業】
（徳島市、徳島県建築士会シニア部会と連携）

（現在進行中）徳島県地域における孤独・孤立対策推進事業費補助事業、ハートフル助成事業、四国労金助成事業（出願中） JKA



取組紹介 スナック雑談とは？



「スナック雑談」は、課題解決のヒントは当事者との対話にある、という想いから始まりました。少子高齢化が特に進む徳島で、空き家問題に取り組む中、令和5年度の国土交通省実証実験「住まいの終活から考える空き家問題」をきっかけに、日曜市の賑わいの中に“つなぐ”場を設けました。それが、雑談スペース「スナック雑談」です。NPO法人AliveLabが運営するこのスペースでは、買い物に訪れる人々が立ち寄り、日営の中で気軽に話せる場所を提供します。これから増える「おひとりさま」の課題に向け、地域の人々がつながり、支え合えるきっかけを作ることを目指しています。買い物ついでに、気軽に立ち寄ってみませんか？



取組紹介 養成講座

2024年12月 1 回目のセミナー

受講者自身が「学び→実践→振り返り」のプロセスを経ることで、雑談で地域貢献に必要な力を着実に身につける講座です。

スナックのママ・マスター養成講座 詳細スケジュールと実践フロー

この講座では、インプットだけでなく、実際に課題解決のための実践を行い、学びを深めるステップを取り入れています。

プロジェクトの流れ:

1月: 基礎を学び、実践の準備。

1月～3月: 各自で地域課題に基づくスナック雑談を試行。

3月: 実践の成果を共有し、スキルを磨く。

3月15日開催: 実践の成果を共有し、スキルを磨く。

- ① 1月からやってみたことの報告
- ② グループワークで課題と改善点をシェアする
- ③ グループ共通で上がってきた課題のシェアと解決をみんなで考える
- ④ 今後に向けてのプランニング



Q1. 何が参考になりましたか？

- ・「繋がりとは人生の選択肢を増やす」ということを改めて実感しました。
- ・地域において「ちょっと話したり、繋がったりするスペース」が減少している現状を再認識しました。でも、人が心豊かに生きるためには、そうした「逃げ場」が必要であり、徳島にもそういった繋がりを持てる場所を、もっと増やしたいと強く感じました。
- ・私は医療・福祉関係者ですが、今回の学びを通じて、福祉以外の領域の方々との繋がりをもちたいと思うようになりました。
- 「スナックが福祉的な課題を持つ人々の受け皿となる機能を果たしている」という発見には驚きましたし、そうすると、スナックが社会で生きる人々にとって、あらゆる意味でのセーフティネットのような役割を果たしているのかな、とも感じます。

Q2. 次回までに何を具体的にやってみたいですか？

- 早速、自分が運営している地域の居場所に今回学んだことを取り入れてみました。
- ・利用者同士の共通点を見つけ、繋げる工夫をしました（タグを意識）
- ・その人自身が気づいていない素敵なところを、スナックのママに教わった通り、なるべく言葉にして伝えるように心がけました。
- ・以前よりも、「この居場所が利用者にとってお守りや逃げ場になればいい」という軸を自分の中で明確に持ちながら運営を行えるようになったと感じています。「楽しかった」「次も行きたい」「行けばよかった」と思えるような、日々の心の拠り所や逃げ場となる空間づくりを目指して運営できるよう、頑張ります。

余裕があれば定期的な居場所運営とは別に、自分自身のスキルアップのために単発のイベントにも挑戦してみたいと考えています。

Q1. 何が参考になりましたか？

実際に模擬スナック体験をした事、まず1歩を踏み出す必要性、ゆるい繋がりを持つ所が参考になりました

Q2. 次回までに何を具体的にやってみたいですか？

私も開催場所に悩んでおります
まず外国人が入り出してそう、徳島県国際交流会へ仕事が休みの時に行ってみようかと思っています(私がボランティア会員している所です)
他に外国人が多く出入りしている場所等、情報をお持ちの方がいらっしゃれば教えて下さい

Q1. 何が参考になりましたか？

ここにいたるまでのいきさつストーリーをきいて、正直って大事でひびきやすいと感じました。
個性派ぞろいの10数名集まったように、せっかくの機会、もっと集まりたいです。まだ見ぬのれん分けHOPEがいるかもれません。
私も声をかけてみます。

Q2. 次回までに何を具体的にやってみたいですか？

すでに
日曜市から私自身が沖に出てのれん分けしても適用するように周囲のいきおいをかります。

取組紹介

2024年12月 1 回目のセミナー



スナック雑談のれん分けプロジェクト
木下紫乃さんをむかえて!

昼スナ
紫乃ママ!
徳島県国際交流会
1月11日、3日

人生後半戦!

さあ! いこう

1月11日(土) 13:00~15:00

参加予約必要

公開録音あり

(ラジオ版スナック雑談)



NPO法人アライブ・ラボ
スナック雑談マスター

岡 昌伸



株式会社ひきだし
昼スナの紫乃ママ

木下 紫乃

取組紹介



インクルーシブ向け

工夫した点は？：障害者手帳割引を設けた

ママ体験者からの感想

今回、スナックのママという貴重な体験ができ、みなさんのお陰で、とても心豊かな時間を過ごすことができました。

地域で、お互いの立場は関係なく、自由に語り合せて、気持ちをわかちあひながら人と繋がる居場所があるということの素晴らしさ、改めて実感しました。

おでんも、かま焼きも最高においしかったです！！皆さんからも「おいしい」と好評でした。本当にありがとうございました。

アライブラボより

今回は、研修会場でもある「街の縁が輪」をお借りして、スナックのママ体験をしていただきました。初めての挑戦でサポートが必要な場面もあったかもしれませんが、同じ研修に参加していた他のママ・マスター見習いの方々もゲストとして足を運び、温かく見守る姿が印象的でした。

この場には、多様なステークホルダーが集い、それぞれが社会課題の解決に向けて取り組む方々ばかりでした。立場を超えて自由に語り合い、気持ちを分かち合いながらつながることができる場の大切さを、改めて実感しました。こうした日常の活動が広がることで、困りごとを抱える人と、それを支えたい人が自然と結びつくセーフティネットが生まれたいと確信しています。

取組紹介（開催後の感想を書きたいので差替え予定）



マルシェに登場。



商店街にも。



海外の方とも。

成果・感想

受講者が「学び→実践→振り返り」のプロセスを重ね、雑談を活用した地域貢献の可能性を実感したことが大きな成果。スナックというイメージによるアプローチは、単なる空間ではなく、人と人が気軽につながり、本音を語れる貴重な居場所であることが改めて浮き彫りになった。地域の中で「逃げ場」や「心の拠り所」となる場の重要性を再認識し、それを自らの活動に取り入れようとする受講者の姿勢には、大きな可能性を感じる。

また、福祉・医療・多文化共生といった異なる分野の人たちが、スナック的な雑談を通じて新たな気づきを得る姿が印象的だった。「スナックが福祉的な課題を持つ人々の受け皿として機能し得る」という発見は、多くの参加者にとって新たな視点をもたらした。本講座をきっかけに、地域における雑談文化が根付き、多様な人々が気軽につながれる場が増えていくことを期待。孤独や孤立を防ぐセーフティネットとして機能し、誰もが安心して過ごせる地域づくりにつながることを願う。受講者、関係者の協力に感謝し、今後も共に学び合いながら、新たな可能性を探っていきたい。

今後の予定と展開

今後も、受講者の活動を広報支援するとともに、継続的な学びと実践の場を提供していく。

1. 受講者の活動を広報支援

受講者それぞれの地域での実践が広がるよう、noteなどのメディアを活用し、取り組みや成果を発信。活動事例を共有することで、新たな参加者の関心を引き、地域内外でのつながりを生みきっかけをつくる。

2. 参加者同士のフィードバック会を定期開催

学びを深め、実践の質を高めるため、毎月日曜日にフィードバック会を開催。受講者同士が実践の振り返りや課題の共有を行い、新たなアイデアを得る場とする。

・実践報告: どんな場をつくったか、どのような気づきがあったか共有

・課題のシェア: うまくいった点・難しかった点を話し合う

解決策の検討: 参加者同士で具体的なアドバイスやアイデアを出し合う

3. 今後の展開

受講者同士のネットワークを広げるための交流イベントの企画

地域の課題解決に向けたコラボレーションの促進

さらなる学びを深めるための追加講座や勉強会の開催

徳島県『地域における孤独・孤立対策推進事業補助金』

スナック雑談のれん分けプロジェクト
木下紫乃さんをむかえて！

1月、3月
連続講座開催！

スナックのママ＆マスターになる講座

さあ、いこう

3月15日(土) 13:00～15:00

定員：15名

まちの縁が輪

〒770-0847 徳島市幸町1丁目43番地



NPO法人アライブ・ラボ
スナック雑談マスター

株式会社ひきたし
星スナの新ママ

岡 昌伸

木下 紫乃



北灘公民館を拠点とした北灘自治振興会の 孤独・孤立対策推進事業とまちづくり

THE KITANADA SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

R7. 3. 11アスティとくしま



北灘公民館を拠点とした北灘自治振興会の 孤独・孤立対策推進事業とまちづくり 地域における孤独・孤立支援活動事業

現時点での取り組み内容・成果・今後の展開（団体紹介、
取組内容、成果・感想）

・
・
・

徳島県鳴門市 北灘公民館
館長 斎藤 祥資

北灘公民館を拠点とした北灘自治振興会の 孤独・孤立対策推進事業とまちづくり

1. はじめに

・北灘町は、鳴門市の北部に位置し、瀬戸内海国立公園となる播磨灘に面し、国道11号線に沿った東西に延びる16kmの細長い地域に点在する5集落で生活を営んでおり、自治振興会のもと地区の自主性を尊重した活動を行っている。世帯数と人口は、853世帯と男750人女806人で生活を営んでいます。

・また産業は半農半漁である。

2 北灘地区自治振興会の現状

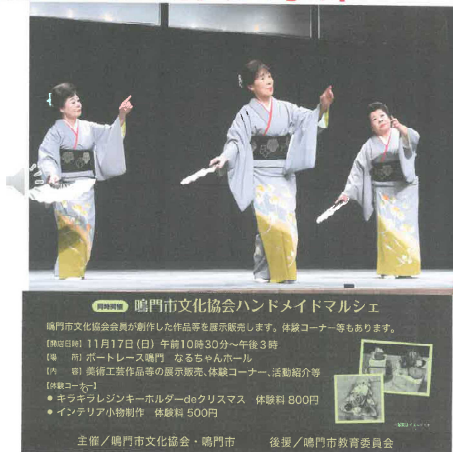
・北灘町には、北灘公民館と各地区には、市の集会所を有し、各地区では、総代会を組織し、地区の特色を生かした自主的な活動を行い、自治振興会を主体とし、それぞれの組織がその傘下で活動をしています。共に公民館はその活動を支援している。

3.自治振興会の地域における孤独・孤立対策推進事業

◎孤立・孤独への処方箋 薬の代わりの居場所づくり (Well-being の条件) 持続的な幸せ

- ・高齢者において、家族親戚友人との交流・社会参加もない人は、鬱、幸福感、希望などの心理的指標も悪化しやすいと言われている。
- ・北灘地区では独居老人・高齢者が急増しており孤立・孤独から回避できるサークルに参加していただく活動を推進しております。
- ・以下、主なものを紹介させていただきます。

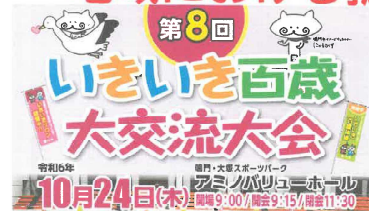
地域における孤独・孤立対策推進事業



地域における孤独・孤立対策推進事業



地域における孤独・孤立対策推進事業



THE KITANADA SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

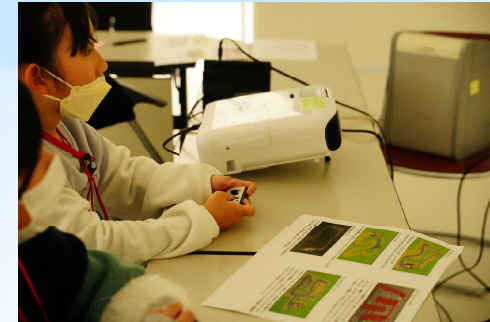


自立支援団体はやぶさ 活動報告

川村 敏仁

自立支援団体はやぶさ活動とは

テレビゲームを主にツールとして用い、
ひきこもり気味の子や不登校傾向の子の支援を
行なっています。



どうということ？

テレビゲームは一般的には教育によくないと
言われているのに？



では、その選択肢をどうする？
取り上げてしまうのですか？



はやぶさではゲームとの付き合い方を考えています。

例えば・・・今日は子供達の待ちに待った
ポケットモンスターの発売日！
※2022年 発売3日間で253万本
(ちなみに全国小・中学生の人数923万人)

クラスみんなは、どこまで進んだ？
どのポケモンゲットした？と話題は持ちきりです。
ゲームはダメだと親から止められている
子供の気持ちになってみてください



はやぶさの考え方



ハンデを抱える子どももゲームを介してコミュニケーション
テレビゲームを通して、学ぶことも多い
テレビゲームをして面白かったでは終わらせない取り組み



はやぶさの活動



(定期)

- ・1ヶ月に1回のテーマを変えてのゲームイベント

(不定期)

- ・放課後デイや学校への出張講師
- ・県特別支援教育課、大学や他団体との合同イベント



悩まされる課題も・・・

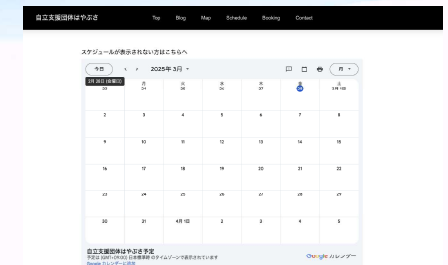
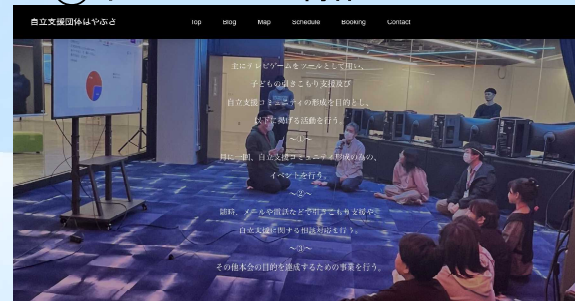


・アミコでの定例イベントに不登校の子に出てきてもらうことが難しい。

・悩みを抱える親世代にも活動内容が伝えにくい。

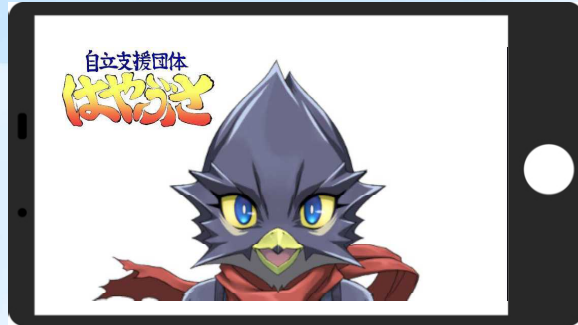
今回の助成活用

①ホームページ制作



今回の助成活用

- ②Vtuber 相談プラットフォーム整備
※現在製作中につきイメージ



今後の活動

ホームページから面談予約
自宅のPCやスマホから簡単にアクセス
はやぶさとの面談や管理のもとコミュニティ形成

夜間も含め、可能な範囲で対応



アミコでの定例イベント（外出）へ繋げる



臨床心理士等によるカウンセリングルーム

FRセンターについて

一般社団法人徳島県就業支援機構

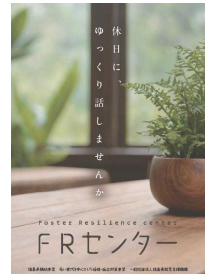
1

FRセンターとは

- foster resilience center
foster（育てる・促進する） resilience（回復力） center（センター）

- 「土・日・祝日」に完全予約制で行う臨床心理士等による相談室
- 対象者：不登校・ひきこもり、職場の孤独・孤立、対人援助職
- 相談室：徳島市昭和町3丁目35-2ヒューマンワークびあ徳島2階

- 所属相談員 5名（男性2名、女性3名）
臨床動作法、発達障害、引きこもり支援、不登校、就労支援、職場のハラスメント
対人援助職のケア



2

経過

- 10月より対面相談活動開始
- 関係機関へ広報周知
チラシの送付、訪問による連携依頼、X・Instagramの活用
対人援助職が参加する研修でのチラシ配布
2024年11月20日徳島新聞掲載



3

実績（9月～2月末現在）

1 新規登録者実数

20名（未登録者1名）

2 属性

性別	男性	女性	その他	計
	5	15	0	20

3 相談件数

電話相談	17件
来所相談	12件
訪問支援	70件
合計	99件

4 相談種別

種別	合計
不登校・ひきこもり	76
発達障害	2
職場の孤独・孤立	0
就労について	2
支援者支援	19
計	99

4

交流事業

内閣府事業 ハートフル市民農園



場所：徳島市不動東町4丁目

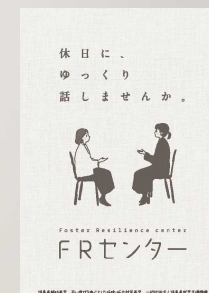
F Rセンターの区画があります。



5

今後の課題

- 事業の継続性（財源）
- ストレスを抱える対人援助職とのつながりの形成



6

みらいユナイトの子ども食堂



サンシャインキッチン

任意団体みらいユナイト
代表 笠井美里

徳島の体験格差を解消する

親の経済力や経験値、体力や精神的事情
地域性などによって起こる、子どもの体験格差を
子ども目線で楽しみながら解消を目指す活動をしています。

私たちの原動力は子どもの笑顔です◎



日々の活動

英語遊びや絵本の読み聞かせ
季節行事の体験
花や絵に触れるワークショップ

家でやるのは大変だけど
やってみたいことに
ドンドン挑戦する！



レンジでカップケーキ作り



体験型子ども食堂

毎回違ったワークショップで
想像性と創造性を育む



親子でクレープ作り

お弁当提供

栄養バランスを考え
心と体の成長をお手伝い

事業報告

参加のきっかけ

- ・子育てに不安を抱えているため
- ・経済的に困りのことがあるため
- ・ワークショップに参加するため
- ・不登校児の外出のため
- ・食事の提供があるため

など...

利用人数

10月 36名（10組）
11月 25名（6組）
12月 30名（8組）
1月 40名（10組）
2月 40名（10組）
3月 40名（10組）

合計 211名（54組）

アンケートのお声

★手作りとても暖かみのあるお弁当、とても美味しかったです！妊娠中で、収入も減り、食事を作るのも一苦労なので、とても助かりました。ありがとうございます。

★優しい味付けで、彩り栄養バランスも考えられていて、子どもも大人も大満足です。

★これ食べてみたいとすごく前のめりに食べるメニューとボリュームですごく大満足でした！生野菜のサラダも物価高騰で最近食べれてなかったのが嬉しすぎました。

★予約制なのが、仕事帰りに焦る事なく利用出来てとてもありがたいです。毎月こども達はとても楽しみにしていますし、私自身もこの日は晩御飯の事を考えず、ゆっくりと食卓を囲めるので、家族みんな楽しい日です。

★いつも美味しいお弁当をありがとうございます。小さな赤ちゃんがおり感染症の流行が心配なので、お弁当スタイルで持ち帰って食べられる、みらいユナイトさんの子ども食堂のスタイルが非常にありがたいです！

アンケートのお声

★ワークショップ中は自由に子供の好きなようにさせていただいて助かります、家だとどうしても型にはめてしまうところがあるので…

★ちょうどいい難易度で良かったです。ガーランドを家に帰って早速飾りましたー！いい意味で適当な感じがありがたいです。

★カップケーキ作り、自分で測って混ぜて出来たので、子どもがすごく喜んでいました！良い体験になりました！

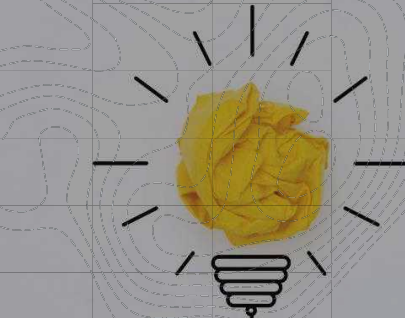
★クッキーのペイント、とても楽しんでいました！なかなか家で出来ない事を、地域でしてくれるのはありがたいです。

★スプレータイプのホイップクリームを初めて使うことができて子供が喜んでいました。使い捨て手袋も用意してくださっていて衛生面や感染対策もできていて安心して参加できたので、良かったです。

その他に欲しい支援内容

- ・食糧支援
- ・防災備蓄の食事や備品の提供
- ・生理用品の提供
- ・文房具の支援
- ・制服など学校用品の支援
- ・学習支援
- ・様々な体験の支援





つなぐ、すすむ、ひろがる 居場所での笑顔拡大事業

特定非営利活動法人
みよしサポート協会ぴあぞら

地域の特徴

- +活動地域は1市1町人口4万人弱で、若年労働者層を中心に人口流出。
- +過疎化とともに少子高齢化が進んでいる。県庁所在地から遠く離れている関係もあり、社会資源の乏しい現状。県内では、自殺率の高い地域と言われている。



現在までの経過と特性

- +自殺率の高い三好市での調査では、人に相談することを恥じる傾向があり、大人も自己肯定感が低い傾向があった。

→子供の頃からの「心の健康づくり」が大切
(必要なときに助けてといえる・自分を価値ある人間と思えるように)

H19年三好市心の健康調査 三好市／岡檀先生



現在までの経過と特性

- +子供の心の健康度調査では、「学校に行きたくない」と、不定愁訴・自己評価・怒りの感情を図る項目と高い相関。「学校に行きたくない」子どもほど誰にも相談しない傾向。

→中1ギャップをキーワードに、学校関係者らとワーキングの立ち上げ、誰でも使える資料集の作成(三好保健所)

H19・24年三好市東みよし町教育委員会・保健所
小6・中1・中2対象心の健康度調査



現在までの経過と特性

+ 民生児童委員への調査では、地域にひきこもり者が30名把握。(その後の県の調査で60名との回答あり)

+ 実際には氷山の一角であり、数倍の人がひきこもっているのではないかな？

+ → 民生児童委員対象に研修会や会議での情報提供を継続的に実施。

H27民生児童委員アンケート 三好保健所
R元年 徳島県ひきこもりに関する実態調査 徳島県健康づくり課



当法人の経過

+ 当NPOが活動する地域を所管する徳島県三好保健所では、不登校やひきこもりに対する支援として、平成15年度から適応指導教室や精神科病院で実施されていた当事者会と連携、またNPO法人(当法人とは別で当法人の主要メンバーが所属していた)と協働し、当事者の交流会や保護者の学習会・個別相談を実施してきた。関わりの中で地域の中で切れ目なく当事者や家族をサポートしていくことが必要であると、当法人の前身、任意団体が、平成20年には、関係機関をつないでいく役割を持つ「みよし若者自立支援の会」を立ち上げ、平成21年6月には、居場所として「みよし若者塾フリースペースすりーぴい」を開所し、ひきこもりの若者への支援をしてきた。

当法人の特徴

+ 運営スタッフは、全員元当事者であり、相談者の気持ちに寄り添った支援が可能

+ 無償ボランティアの多くは専門職(公認心理士・教員・養護教諭・看護師・保健師)であり、専門的なアプローチが可能

つなぐ、すすむ、ひろがる居場所での笑顔拡大事業

+ 目的

+ 適応指導教室やひきこもりがちな若者が集うサードプレイス・発達障がいなどの障がいを抱える人たちが集まる事業所などが交流することでお互いの理解を深める機会とし、体験活動によって自分たちの視野を広げる。



適応指導教室との交流会

10月 思春期ふれあい体験教室(性教育)



始めに、先生から命について学びます



まずは、人形で抱き方の練習



実際に赤ちゃんを抱っこ



おむつの替え方も見てね

適応指導教室との交流会

12月 ボードゲームで交流



ボードゲームは
コミュニケーションツールとして大活躍

2月 適応指導教室の卒業生に、体験談を話してもらいました



修学旅行体験

うみのこてらすで説明を受ける



牟岐町の観光地探索

海外からの技能実習生との交流会



ネパールからの技能実習生とお餅つきを
楽しんだ後、交流しました



ボランティアの元中学校の
校長先生、大活躍

県外の地域活動支援センターとの交流会



地域活動支援センターでのパン作り体験



久しぶりの汽車での旅
切符の買い方学びました



その他 体験学習

9月 地域の農家で収穫体験



10月 薬膳料理体験



10月 東祖谷テイクア参加者のと交流



ピアサポーターの存在

- + ピアサポーターは、ひきこもりや不登校経験があつて、ひきこもり気質を持っていることで、社会で苦勞してきた仲間や先輩が支援に携わっており、指導者というよりは、一緒に失敗経験をして笑い合える存在。
- + NPO法人みよしサポート協会びあぞらのスタッフは全員ピアサポーターであり、いろいろな場面で本人の気持ちや考えを理解して行動している。
- + また、適応指導教室との交流会には、卒業生が生の声で当時の気持ちや今の生活を語ることで、本人の気持ちを一番理解してもらえる先輩に出会えたという安心感が得られたのではないかな。



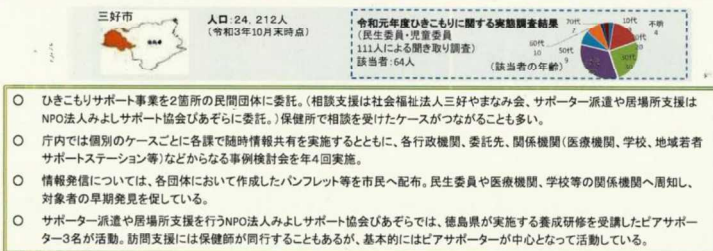
多くの共有体験をすること

- + 現在、ぴあぞらの活動場所は、面積が広く公共交通機関の不足により、4カ所の居場所を開設し運営しています。その居場所を「安全基地」と自覚することで動き出すこともある。
- + その上で、居場所で自分を受け入れてくれたスタッフやボランティア、そして地域内外の方と、多くの共有体験をすることで、社会的スキルの訓練にとどまらず、傷ついたプライドを癒やし自己肯定感を回復する上でも重要な役割を果たしていると考えられる。

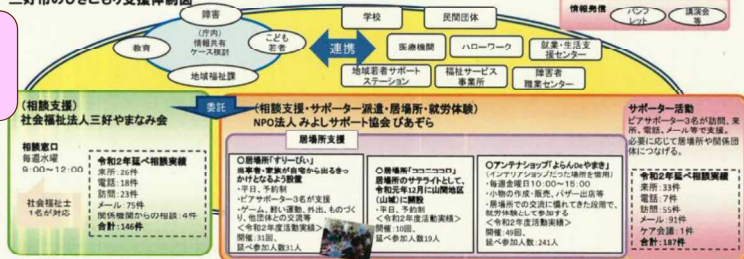


市町村におけるひきこもり支援の取組例（徳島県三好市）

関係者との つながり



三好市のひきこもり支援体制図



徳島県 自治体におけるひきこもり支援事例より引用

今回の事業での考察

- +ピアサポーターの存在
- +多くの共有体験をすること
- +関係者とのつながり

今後も引き続き大切にしたいと思います

令和7年3月11日(火)

令和6年度とくしま孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム 報告会

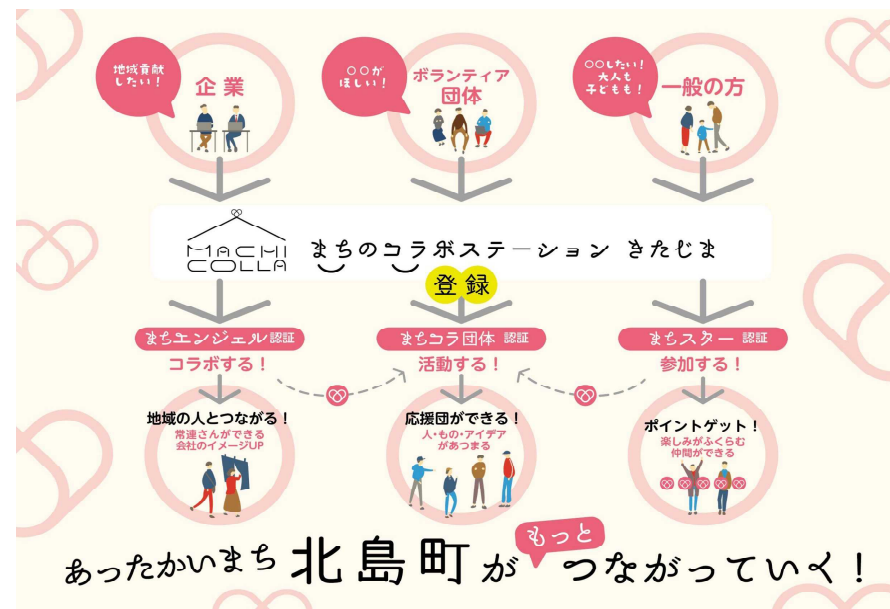


特定非営利活動法人 YOU&ゆう
理事長 岡田あかね



■ 特定非営利活動法人 YOU&ゆう 団体概要 ■

- 2003年1月 NPO法人YOU&ゆう設立
- 2014年7月 有償ボランティア養成講座開講（助成金）
- 2015年2月 住民参加型在宅福祉サービス「ささえあい」設立
- 2018年4月 介護保険事業（町指定総合事業A型のみ）開設
生活支援体制整備事業（委託）
基準緩和型（A型）養成講座開講（委託）
- 2018年10月 子育て応援サロン・多世代交流サロン等の居場所づくり開始
- 2019年6月 とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会 代表幹事
- 2021年12月 介護保険事業開設（県指定）
- 2022年2月 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 副代表幹事
- 2022年4月 北島町おたすけ隊（総合事業B型）開始
- 2022年5月 北島町子ども食堂あすなろ設立
- 2023年4月 重層支援体制整備事業移行準備事業開始（委託）
- 2023年5月 地域食堂「じいちゃん、ばあちゃん、孫食堂」モデル事業開始
- 2023年10月 まちのラボステーションきたじま（通称：まちコラ）開設
- 2024年12月 不登校生等の居場所「ごはんくらぶ」設立



商店・企業と地域をつなぐ

まちづくりを進めていく上で見えてきたことの一つが、地元の商店や企業の方々の「地域のために力を尽くしたい!」という熱い思い。しかし「その方法や場所がわからない」という声も多数いただきました。【まちコラ】ではご登録いただいた北島町の商店や企業へ地域貢献のアイデアや仕組みを提案。信頼できる登録団体への紹介や情報発信のサポートを通じて新たなつながりを構築するなど、より良いまちづくりへの参加にご協力します。

人と人をつなぐ

誰かの役に立ちたい方、新しい居場所を探している方の「つながりたい!」という気持ちを応援します。たとえば「ボランティア講座を受講したけれど、自分に合うボランティア団体はどこだろう」「事情があって人付き合いが減ってしまったが、新しい活動を始めてみたい」という方は、ぜひ【まちコラ】に登録してください。安心できる登録団体への紹介だけでなく、一人で不安な場合はスタッフが同行するなど、丁寧にサポートします。



人とモノをつなぐ

大量生産・大量消費の時代は多くのごみを生み出しました。その結果、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品や十分に使用ができる日用品まで廃棄されることに。【まちコラ】では農家さんの採れすぎた野菜や不要になった家具・家電製品などをリユース。寄付の窓口をつくり、余分にあるモノを必要な場所や人へ届けていきます。捨てる「サユウナラ」ではなく、地域循環型の「アリガトウ」の届け合いが、まちを豊かにしていきます。



・地域貢献
・ボランティア活動
興味・関心からつながる
地域づくり



・地域社会との関わり
・多様なつながり
福祉課題を解決する
ためのつながり





■ ごはんくらぶ 成果と今後の展開

目的

- ・自宅 ⇄ 【ごはんくらぶ】 ⇄ 学校
- ・孤立させない地域づくり

成果

- ・中間的居場所 = 社会の接点 = つなぎ
- ・官民連携
- ・多様な方が集う機会

展開

- ・教育機関との連携



ゆめコラ★地域まるごと！ こどもワクワク体験教室

10/19±20

開場／9:30～(総合受付にて受付)
※各参加ブースの開場時刻に合わせてご来場ください
場所／北島町役場7階
(板野郡北島町中村字土地23-1)

楽しさいっぱい☆わくわく体験会へようこそ。
子どもたちの夢と希望にあふれる未来への第一歩が「ゆめコラ」から始まる！
みんなで一緒に豊かな未来を描きましょう！

19±

化学っておもしろい！
～身近な「化学」をいっしょに学びましょう～

対象：小学生(兄弟姉妹などご相談ください)
四国化成工業株式会社

みなさんのまわりには「化学(かがく)」があふれています。
服、スマホ、ゲーム機、車、電卓など、ぜんぶ化学でできています。学校では習わない……かもしれない、ドキドキワクワクな化学実験をいっしょにしてみませんか。

① 10:00- [定員10名]
② 11:00- [定員10名]
③ 12:00- [定員10名]
④ 13:00- [定員10名]
⑤ 14:00- [定員10名]

●白衣など、実験に必要なものはこちらで準備します。保護者の方もぜひご参加ください。

北島町

Kitashima Town, Tokushima

参加費無料
(要事前申込)

時間が足りない場合
複数申込
OK!

町内外問わずご参加いただけます。
保護者のブース内見学。
ご自由にとりまわってください。

～めざせお金博士～
楽しくお金について学ぼう

対象：小学生 百十四銀行 徳島北支店

銀行ってどんなところ？どんな仕事をしているの？こんなみなさんの疑問にお答えします！銀行のお話のほか、お札を早く数える方法も教えます！また、この夏あたらしく発行されたお札にミズについてもお話します！楽しく銀行とお金について一緒に学んでみませんか。

① 10:00- [定員4名]
② 11:00- [定員4名]
③ 12:00- [定員4名]
④ 13:00- [定員4名]
⑤ 14:00- [定員4名]

●持ち物：筆記用具・水筒・新紙幣のうもどれか(紙幣鑑定に使用します。各自で用意できません)



消防士
救助体験



銀行員
御札の鑑定



化学者
実験



薬剤師
薬の梱包

■ ゆめコラ 成果と今後の展開

目的

- ・多様で豊かな体験→自己実現の醸成
- ・立場や年齢の違う者が出逢う機会



成果

- ・官民連携体制の深化
- ・子ども達が自己実現の意識を高め、未来へ希望を抱くことのできる社会づくり

展開

- ・教育機関への拡充
- ・地域循環型の官民連携チームの構築



企業・商店さん	団体・住民さん	地域
◎イメージアップ ◎新たな顧客との出会い ◎地域貢献の実現 ◎地域の人材につながる	◎ボランティアのやりがい ◎負担の軽減（活動の持続） ◎新しい居場所 ◎社会参加の機会 ◎情報が豊かになる	◎福祉・自治の啓発 ◎地域循環型の構築 ◎持続可能なまちづくり ◎財源の削減

あったかいまち

もっと

もっと

北島町が つながって 元気になっつく！

14



ご清聴ありがとうございました

まちコラ
YouTube



YOU&ゆう
Facebook



まちコラ
WEB

まちコラ
Instagram



[問合せ] you.you.kitajima@gmail.com

☎ 090-2780-3580 (岡田)



まちコラ
公式LINE



特定非営利活動法人YOU&ゆう
まちのコラボステーションきたじま【まちコラ】